

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年5月23日

提出区分	実績	整理番号	17	課題区分	A
横断的な課題	リニア及び三遠南信自動車道の開通を見据えた取組の推進				
地域重点政策	地域資源を活かした地域振興				南信州地域振興局
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属 農業農村支援センター
事業名	～日本なし産地再生プロジェクト活動～ 日本なしを使用した菓子等商品化プロジェクト			電話	8-236-2481
				E-mail	<a href="mailto:minami-nosei@pref.nagano.lg.jp">minami-nosei@pref.nagano.lg.jp</a>
事業の概要等	目的 (目指す姿)	産地再生に取組む日本なしを活用したお菓子やスイーツなどで地域の新たな商品化を図り、加工商品を通じて地域特産果樹である日本なしの魅力を生産者に発信し地域で共有する。			
	現状と課題	当地域は古くから県下有数の日本なし産地だったが、H29からR3にかけて生産量は23%減の7,421tで、R8には4割減の4,324tと推計される。一方、全国の小売単価は220円あたりおよそ870円/kgとなっている。このことから、果樹農家の所得向上には重要な品目になると考えられ、生産者、農協、行政機関等が一体となったプロジェクトを設立し、日本なしの産地再生を目指す取組を本年度から始めた。 プロジェクトの一つとして日本なし加工品キャンペーンを来年度から行い、製菓業者や飲食店とともに商品化等に取り組む事となったが、地域住民へ効果的に本プロジェクトを情報発信し、生産者及び農業関係団体、行政機関だけではなく、消費者の立場で地域住民にも産地を応援してもらうことが産地継続に向けて課題となっている。			
	内容 (変更後の内容)	今年度は、製菓業者及び冷凍製造業者(7事業者)とタイアップして商品化に取り組み、来年度から販売開始される商品も含めて10品を報道機関に向けてお披露目会を開催した。そこで、来年度の「日本なし加工品キャンペーン」に向けて、参加店舗(菓子店、飲食店等)を増やすため、本年度から賛同業者を募り、キャンペーンを盛り上げる。また、キャンペーン効果をより高めるために、統一ロゴやデザインによるのぼり旗を4月から関係機関で掲げプロジェクトの周知を図るほか、キャンペーン期間中は参加店舗でも掲げることで地域を盛り上げる。 【スケジュール】 令和5年2月～ 地域内の製菓業、飲食店にキャンペーン参加を募るため訪問、ロゴデザイン・マップ案作成依頼 3月上旬 ロゴデザイン・マップ案決定 3月下旬 のぼり旗納品 4月～ 店舗訪問を継続・マップ製本・ポスター製作及びプロジェクトメンバーがのぼり旗を掲げプロジェクトの周知 8月～10月 シャリシャリ南信州の日本梨キャンペーン(仮称)※開催 ※参加店舗は統一デザインによる「のぼり旗」を掲げ、管内観光案内所等に「食べられマップ(仮称)」を設置することでキャンペーンを盛り上げ、日本なし産地として地域住民の理解をすすめる。			
	事業期間	令和5年2月		～	令和5年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	プロジェクト統一ロゴデザイン制作	ロゴデザイン	55,000		
	PRののぼり旗作成	のぼり旗一式(ポール含む) 100セット 旗 600mm×1,800mm ポール 2400mm	107,580		
	食べられマップ案作成	マップデザイン案作成 A3・両面4色・コート90kg・四つ折り	126,500		
	合計	289,080			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	新規キャンペーン参加店舗		8店舗	5店舗	○ 達成 ○ 一部達成 ● 未達成
事業実績・成果	プロジェクトの統一ロゴを決定し、のぼり旗にロゴも含めてデザインして製作することができた。 また、統一ロゴ入れたマップのイメージデザインとのぼり旗を活用して、3月から菓子店を訪問し参加を募ったところ、5店舗で参加いただけることになった。参加店舗は当センターで直接募った他、地元新聞紙に掲載して参加店を募ったが、3月はひな祭り、卒業式などの行事で店舗が忙しく、話を聞いていただくところまでいかない菓子店もあった。また、新聞をみての問い合わせもなく、目標の新規8店舗には到達できなかった。 ただ、参加店舗は新規5店舗を含めると12店舗になり、日本梨は加工適性が低い商品化が難しいことを考えるとまずまずの成果と考えたい。				
今後の方向性	現在、継続して参加店舗を募っている。(4/20時点で12店舗) R5年度も引き続き地域振興推進費を要望して、本事業でデザインしたマップの印刷と参加店舗等へ掲示するポスターを作成し、8～10月に実施する「日本梨キャンペーン」において情報発信素材として活用する。 【R5年度計画案】 7月中旬 ポスター、マップ納品と各店舗等へ配布 7月下旬 日本梨キャンペーンのレスリリース 8月～10月 キャンペーン実施				